

令和 7 年度

運営に関する計画

大阪市立桜宮小学校

令和7年4月

大阪市立桜宮小学校

令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

学校運営全体を通じて、知・徳・体のバランスのとれた教育をめざし、平成25年度より体育科を校内研究教科に取り上げ、体育科の指導を中心に取り組んできた。

【安全・安心な教育の推進】

『小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。』という目標に対しては86.1%の児童が最も肯定的な「思う」と回答しており達成することができている。また、その割合を肯定的にまで上げると、実に98.1%の児童が「いじめ」が許されないものであると認識している。「いじめ」については「絶対にあってはならない」という意識を学校全体でより一層向上させるため、ファミリー活動や学級活動を充実させる取組の深化、充実に努めていく。また、教職員についても人権意識向上や児童理解のための研修を行い、変化の機微を見落とさぬようアンテナを高くし、児童一人ひとりに寄り添う関わりができるように努めたい。

『不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる』という目標については、令和5年度0.33%、令和6年度0.63%となっており達成することができなかった。さらに『前年度不登校児童の改善の割合を増加させる』という目標についても令和5年度1人に対して、令和6年度も1人となっており達成することができなかった。

「不登校」問題については未然に防ぐことが肝要であるため、常日頃から家庭との連携を密にし、心のケアやサポートを丁寧に行っていく。また、当該児童については、区役所の子育て支援室やカウンセラーとの連携を図るなど、解決への方途を尽くしたい。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

『小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を65%以上にする。』という目標については、児童割合が49%となっており達成することができていない。一方、同項目の肯定的な回答については児童割合が90.4%と高い水準に達していることから、そうした児童を中心に話し合い活動の良さを実感できるような場を設定し展開していくことで目標達成をめざしていく。また、話し合いの土台となる基礎学力の確実な定着と向上を念頭におき、日々の学習指導や朝の学びの時間などの活用、論理的思考力や「書く」力を育てるための系統立てたノート指導など、様々な形でのアプローチを行っていききたい。

『小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を75%以上にする。』という目標については、児童割合が75.7%であり、目標を達成することができている。今年度も継続した取組により、運動に親しむ児童のさらなる育成に努めたい。体力向上については「桜の力」を体育の学習と結び付けながら有効活用できるよう取組を進める。また、休み時間には指導者も外へ出て一緒に体を動かすことにより、児童が体を動かすことについて、これまで以上に習慣化していけるようにする。

【学びを支える教育環境の充実】

教育DXについての児童実態としては、継続的な取組により、慣れ親しむ段階から実践的に活用する段階へと移っている。教職員同士が効果的に活用できる具体的な場面を共有し、指導技術の向上を図るためのICT研修をさらに重ねていきたい。

働き方改革については、合理的かつ効率的に仕事を進められるよう、教職員一人ひとりの意識を高めていけるようにする。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○令和7年度の小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童生徒の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の小学校学力経年調査（校内調査）の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度末の校内アンケートの「学習活動の中で学習者用端末を活用することができますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を80%にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・年度末の校内アンケートにおいて、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内アンケートにおいて、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 令和7年度の小学校学力経年調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答する児童の割合を、90%以上にする。
- 令和7年度校内アンケートの「学校は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。
- 令和7年度校内アンケートの「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目で肯定的に答える児童の割合を95%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を65%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を75%以上にする。

学校園の年度目標

- 令和7年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の新体力テストにおいて、体力合計点で大阪市平均を上回る。
- 校内アンケートの「体育科の学習以外で、運動場に出て体を動かしていますか」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の80%以上にする。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1（1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないかつ1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにする）を満たす教員の割合を90%以上にする。

学校園の年度目標

- 令和7年度末の校内アンケートの「学習活動の中で学習者用端末を活用することができましたか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を、90%以上にする。
- 時間外勤務時間を市平均以下にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立桜宮小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。 ・年度末の校内アンケートにおいて、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内アンケートにおいて、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度の小学校学力経年調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答する児童の割合を、90%以上にする。 ○校内アンケートの「学校は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。 ○校内アンケートの「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目で肯定的に答える児童の割合を95%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安心・安全な教育環境の実現】</p> <p>異学年交流を通して、自分の役割や友だちの良さに気付けるようにし、互いを思いやり、尊重し合える集団作りを進める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班（ファミリー）を用いた異学年交流の機会を基本的に年に10回、児童会行事を学期に1回行う。 	
<p>取組内容②【基本的な方向1、安心・安全な教育環境の実現】</p> <p>規範意識を高め、主体的にきまりや規則を守ろうとする児童を育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回生活目標強調週間を、年間2回あいさつ週間をそれぞれ設定し、校内でみんなが気持ちよく過ごすことができる方法について、子どもが自分から進んで考えることのできる取り組みを行う。 	
<p>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>自他の生命を大切にし、お互いに尊敬し合う態度や自他の人権を守る行動をとることができる児童を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科とのつながりを意識した人権教育年間指導計画を作成し、それに基づいてそれぞれの学年で年間2回以上個別の人権課題について考える機会を設定する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立桜宮小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 65%以上にする。 ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 75%以上にする。 <p>学校の年度目標</p> <p>○令和 7 年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>○令和 7 年度の新体力テストにおいて、体力合計点で大阪市平均を上回る。</p> <p>○校内アンケートの「体力や運動能力の向上のために、体育科の学習や休み時間で運動に意欲的に取り組みましたか」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を 90%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>対話的な学習を多面的にとらえ、あらゆる教科、領域の学習において、児童がともに学びあう集団の育成に努める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで意見交流をする場を 1 日 1 回以上設定する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学習の向上】</p> <p>教員の指導力を向上させるために、「主体的・対話的で深い学び」を視野に入れた授業研究や校内研修を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を受けもつ全教員が研究授業や公開授業を行う。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</p> <p>運動に親しむ機会をより多く設け、体力・運動能力の向上に努める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内アンケートの「体力や運動能力の向上のために、体育科の学習や休み時間で運動に意欲的に取り組みましたか」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を 90%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標(小学校) ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の80%以上にする。 ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1（1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないかつ1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにする）を満たす教員の割合を90%以上にする。 学校の年度目標 ○令和7年度末の校内アンケートの「学習活動の中で学習者用端末を活用することができますか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を、90%以上にする。 ○時間外勤務時間を市平均以下にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【基本的な方向6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 児童の興味・関心を高める授業の一層の推進に向けて、ICT機器を有効的に活用する。 <hr/> 指標 ・授業日において学習者用端末を使用する割合を80%以上にする。 ・デジタルドリルやデジタル教科書など、ICT機器を有効的に活用できるよう、研修会を年間3回以上実施する。	
取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、働き方改革を推進する。 <hr/> 指標 ・「ゆとりの日（セットの日）」を週1回以上設定する。 ・日々の超過勤務時間が月45時間を超えないようにする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	